

LIN SHEATH

C-2209-0-1

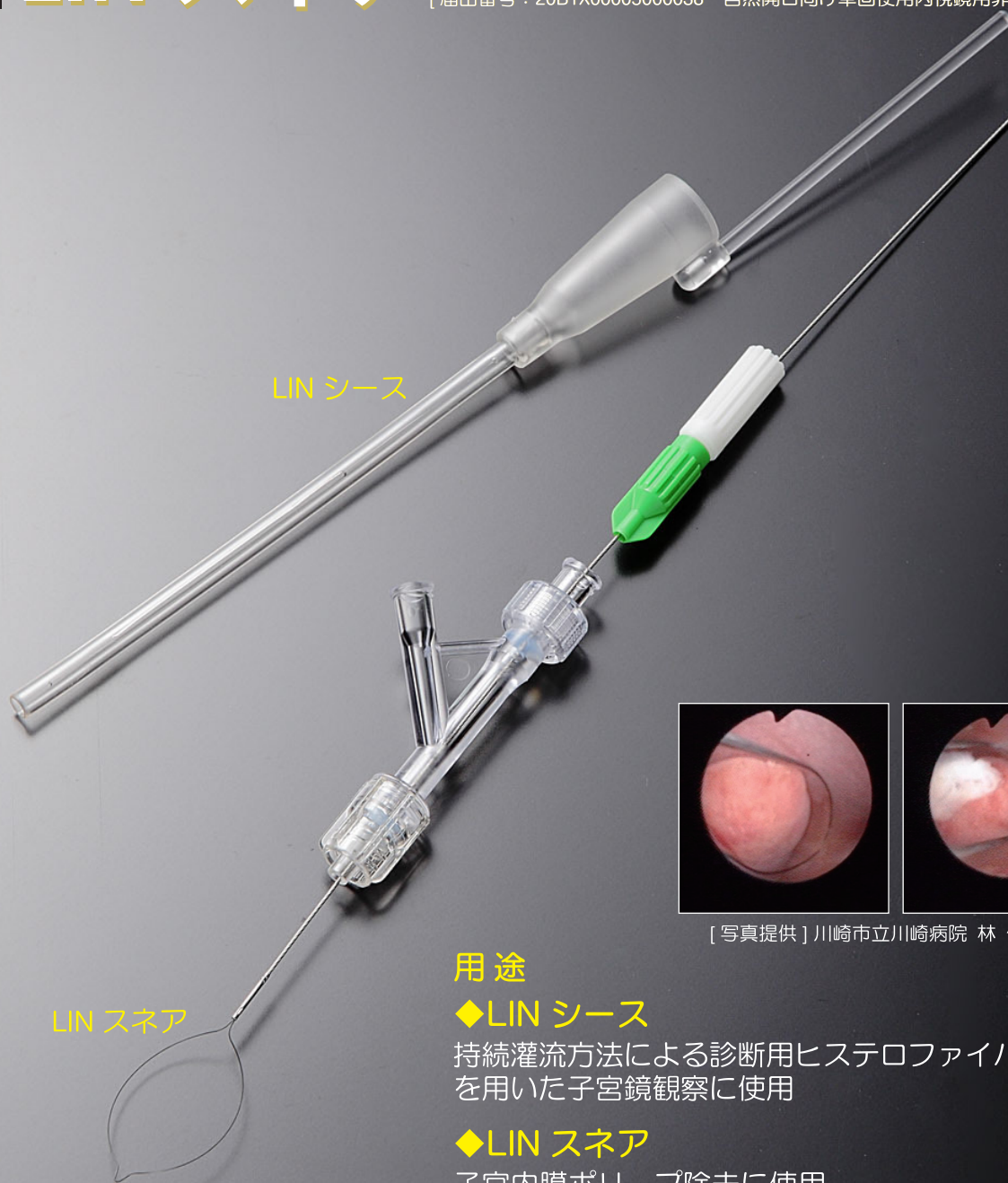
LIN シース

[届出番号：20B1X00005000039 内視鏡下灌流・吸引器]

LIN SNARE

LIN スネア

[届出番号：20B1X00005000038 自然開口向け単回使用内視鏡用非能動処置具]



LIN シース

LIN スネア

用途

◆LIN シース

持続灌流方法による診断用ヒステロファイバースコープを用いた子宮鏡観察に使用

◆LIN スネア

子宮内膜ポリープ除去に使用

[写真提供] 川崎市立川崎病院 林 保良先生

特長

○LIN シースを用いることで、チャンネル孔が1つしかない細径の診断用ヒステロファイバースコープでも、シースの隙間より持続的に灌流液を排出することが出来、子宮内の視野の混濁が無くなり、観察が容易になります。

○LIN シースは、診断用ヒステロファイバースコープ外径φ3.1mmに対応しています。

○LIN スネアは、診断用ヒステロファイバースコープで子宮内膜ポリープを無麻酔で比較的低侵襲で除去することが可能です。

○スネアは3種類「S,M,L」のサイズがあり、ポリープの大きさに対応しています。

haccco®

心のかよう医療器ハッコー

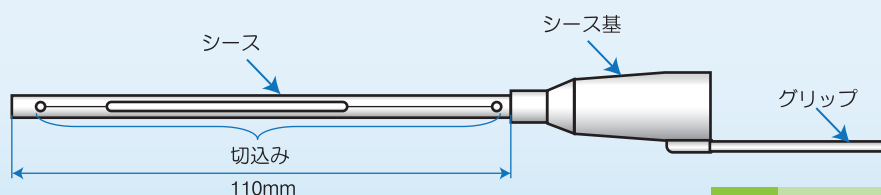
本製品は、一回限りで再度のご使用は行わないでください。
製品の仕様・外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

LIN シース

[届出番号：20B1X00005000039 内視鏡下灌流・吸引器]

構成図

■LIN シース



材質 シース：ポリ塩化ビニル
シース基：ポリ塩化ビニル
グリップ：ポリ塩化ビニル

仕様

製品コード	規格	包装形態
29111900	3.8×4.9×110mm	1箱5本入、ピールパック包装 EOG 滅菌済

【使用上の注意】

<相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関する事）>

①挿入部径がφ3.1mm以下の診断用ヒステロファイバースコープを使用すること。

[シース内腔と診断用ヒステロファイバースコープとの空間が狭くなることで、持続的に灌流できない恐れがあります。

また、シースが破損し、子宮内への遺残または組織を損傷させる恐れがあります]

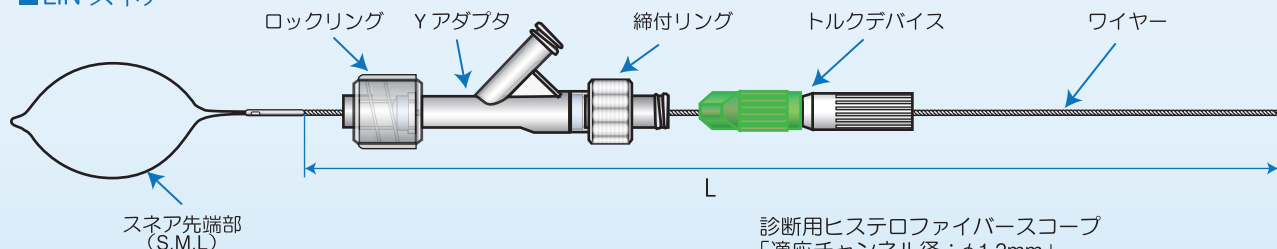
②腔鏡との接触または衝突には注意すること。[シースが破損し、子宮内へ遺残する恐れがあります]

LIN スネア

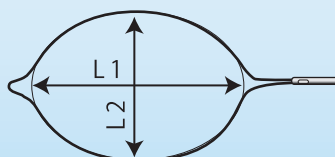
[届出番号：20B1X00005000038 自然開口向け単回使用内視鏡用非能動処置具]

構成図

■LIN スネア



材質 スネア先端部：ニッケルチタン合金
ワイヤー：ステンレス
Yアダプタ：ポリカーボネート
シリコンゴム



診断用ヒステロファイバースコープ
「適応チャンネル径：φ1.2mm」

タイプ	スネア先端部			ワイヤー L (mm)	適応ポリープの 大きさ (mm)
	L1(mm)	L2(mm)	線径(mm)		
S	20	16	0.2	500	10以下
M	25	18			10～15
L	30	20			15～20

仕様

製品コード	規格	適応ポリープ大きさ(参考)	包装形態
29111910	Sタイプ L20xW16mm ワイヤー長 500mm	10mm以下	1箱5本入、ピールパック包装 EOG 滅菌済
29111920	Mタイプ L25xW18mm ワイヤー長 500mm	10～15mm	
29111930	Lタイプ L30xW20mm ワイヤー長 500mm	15～20mm	

【使用上の注意】

・使用する前には必ず併用する診断用ヒステロファイバースコープのチャンネル先端からスネア先端部が突出することを確認してください。

・子宮筋腫切除には使用しないでください。

[組織が硬いため、スネアが破損し、子宮内へ遺残する恐れがあります。]

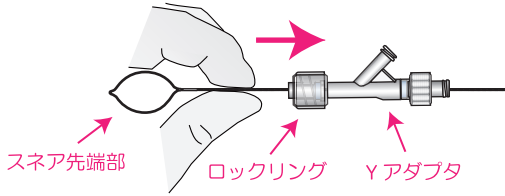
本製品をご使用になる際には必ず製品の注意事項等情報（電子添文等）をお読み下さい。
電子添文等には、使用方法及び【禁忌・禁止】事項など記載されております。

【LIN スネア】と【LIN シース】を併用する場合

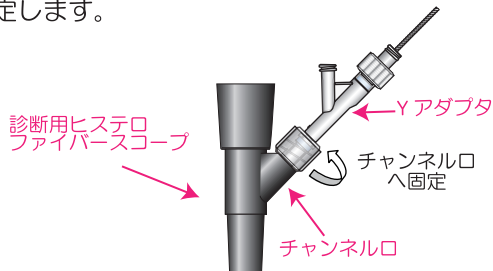
診断用ヒステロファイバースコープに【LIN スネア】をセット後、【LIN シース】を装着してください。
(以下セットアップ方法については、併用する方法を記載しています)

<LIN スネア /LIN シースのセットアップ>

- (1) Yアダプタのロックリング側からスネア後端を挿入し、Yアダプタ内にスネア先端部を収納するまで進めます。



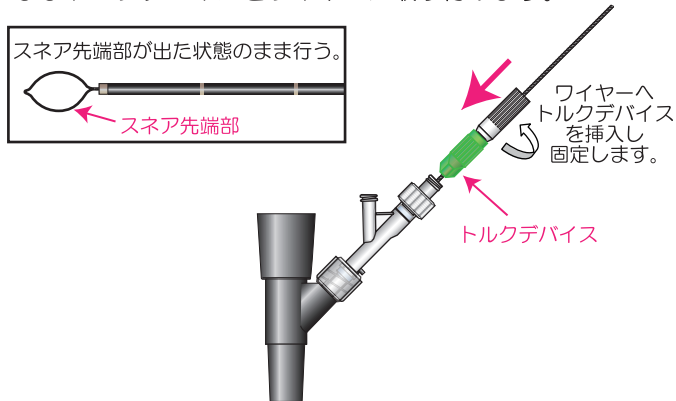
- (2) Yアダプタのロックリング側を診断用ヒステロファイバースコープのチャンネル口に嵌合させ、ロックリングを回し固定します。



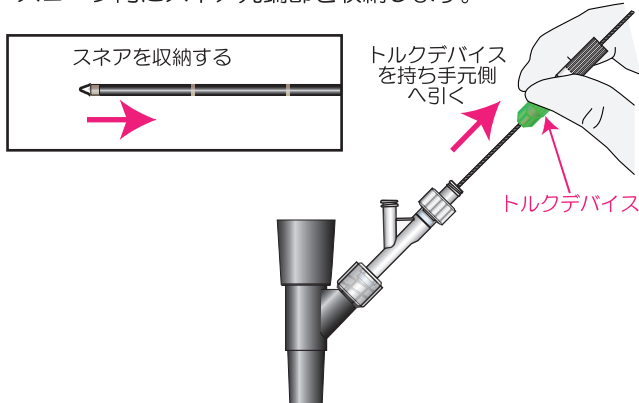
- (3) スネア先端部が診断用ヒステロファイバースコープの先端から出るまで進めます。



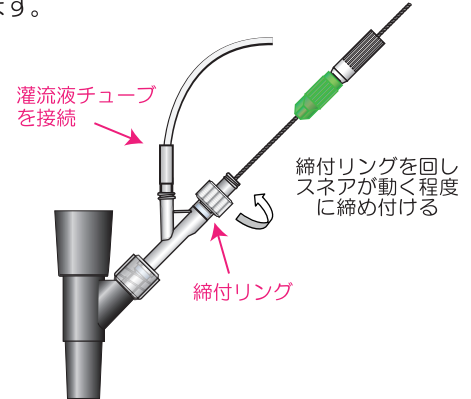
- (4) トルクデバイスをスネア後端より挿入し、スネア先端部が診断用ヒステロファイバースコープの先端から出た状態のままトルクデバイスをワイヤーに取り付けます。



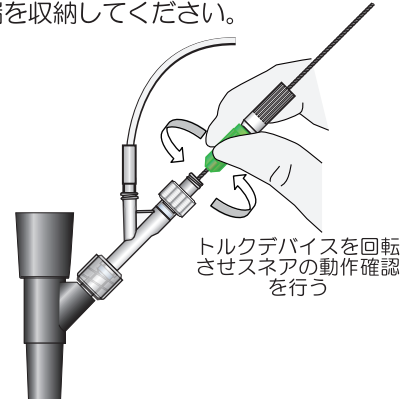
- (5) トルクデバイスを手元側に引き、診断用ヒステロファイバースコープ内にスネア先端部を収納します。



- (6) スネア収納後 Y アダプタ後端の締付リングを回し、スネアが動く程度に締付け、もう一方のルートへ灌流液のチューブを接続します。

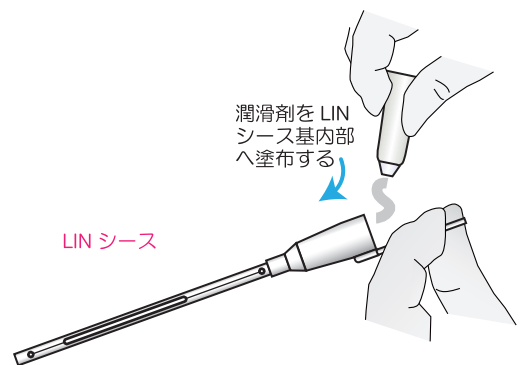


- (7) トルクデバイスを前方に押し出し、左右回転させスネアの動作確認を行ってください。その後、トルクデバイスを引きスネア先端を収納してください。

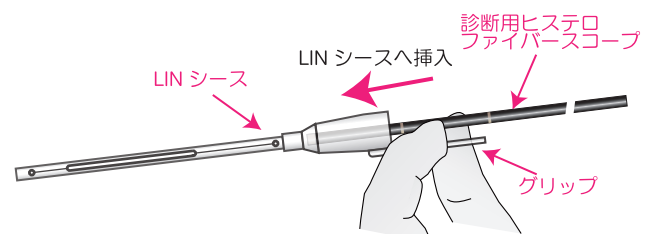


次に、【LIN シース】を併用しセットアップします。

- (8) LIN シースのシース基内部に潤滑剤を塗布します。



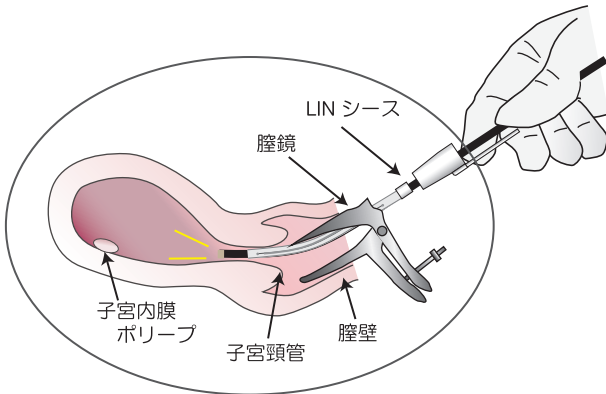
- (9) LIN シースのグリップを持ち、診断用ヒステロファイバースコープをシース基より挿入します。



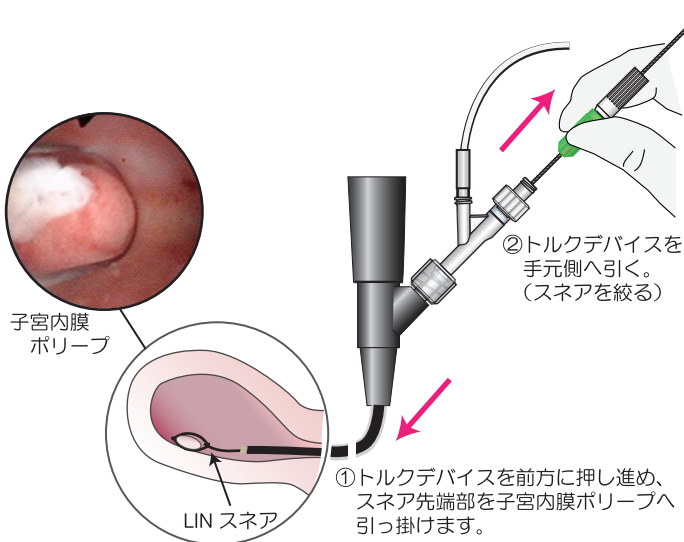
- (10) 診断用ヒステロファイバースコープの先端から 10mm 後方に LIN シース先端を配置します。



- (11) 診断用ヒステロファイバースコープと LIN シースのグリップを一緒に保持し、子宮内にシースの切込み部が入るまで挿入します。挿入する際は陰鏡を使用し子宮口を露出させてから挿入します。



- (12) 灌流液ルートを開放し、手技を行います。子宮内膜ポリープを除去する場合は、子宮内膜ポリープにスネア先端部を引っ掛けた後、トルクデバイスを手元側に引き、診断用ヒステロファイバースコープの先端でスネア先端部を絞る、子宮内膜ポリープを取ります。



- (13) スネア先端部を絞った状態で、診断用ヒステロファイバースコープと一緒にスネア及び LIN シースを子宮内から抜去し、子宮内膜ポリープを子宮内から取出します。

- (14) トルクデバイスを前方に押し、スネア先端部の絞りを解除し、子宮内膜ポリープをスネアから取り除きます。



- (15) 引き続き子宮内膜ポリープを除去する際は、スネア先端部を診断用ヒステロファイバースコープ内に収納し、(10) から (14) と同様の操作を行います。

- (16) 手技が終了したら、灌流液用チューブの接続を外し、その後、Yアダプタのロックリングの接続を外します。スネアを診断用ヒステロファイバースコープのチャネル口側から抜去します。

- (17) LIN シースから診断用ヒステロファイバースコープを抜去します。

写真提供 川崎市立川崎病院 婦人内視鏡科部長 林 保良先生

参考資料【子宮鏡の臨床ABC】

川崎市立川崎病院 婦人内視鏡科部長 林 保良先生

本製品の使用方法は、製品を紹介する目的で記載しています。
ご使用になる前に、必ず製品の注意事項等情報（電子添文等）をお読みください。
電子添文等には、「禁忌・禁止」事項や使用方法、使用上の注意等重要な事柄が記載されています。